

「ストーリー」が強い企業をつくり、企業ブランドを強固にする。

コーポレート・コミュニケーションの核となる、自社のストーリー構築支援コンサルティング

野村インベスター・リレーションズ株式会社
コンサルティング部



NOMURA 野村インベスター・リレーションズ

STRICTLY PRIVATE AND CONFIDENTIAL

© Nomura Investor Relations

意思の見えない経営にも、広報にも、サヨウナラ。

新型コロナウイルスの脅威を経験し、ただでさえ多様化の一途を辿っていた人々の志向は、さらに加速度的な変化を見せている。

必要とされるコミュニケーションの本質は、
エコノミカルからエシカルへ、機能からストーリーへと完全に切り替わった。
ただ、これがなかなか難しい。

企業広報に携わる者なら誰もが口にする「ストーリー」は、
本当に企業として伝えるべき「ストーリー」になっているのだろうか？

あらゆる情報がガラス張りにされるなかで、
義務的にやっていたらいい—
そんな考え方では、通用するどころか、信用を失いかねない。
これまで以上に対象とシンクロする本質的なコミュニケーションを志向していかなければ、
世中にはもう、届かない。

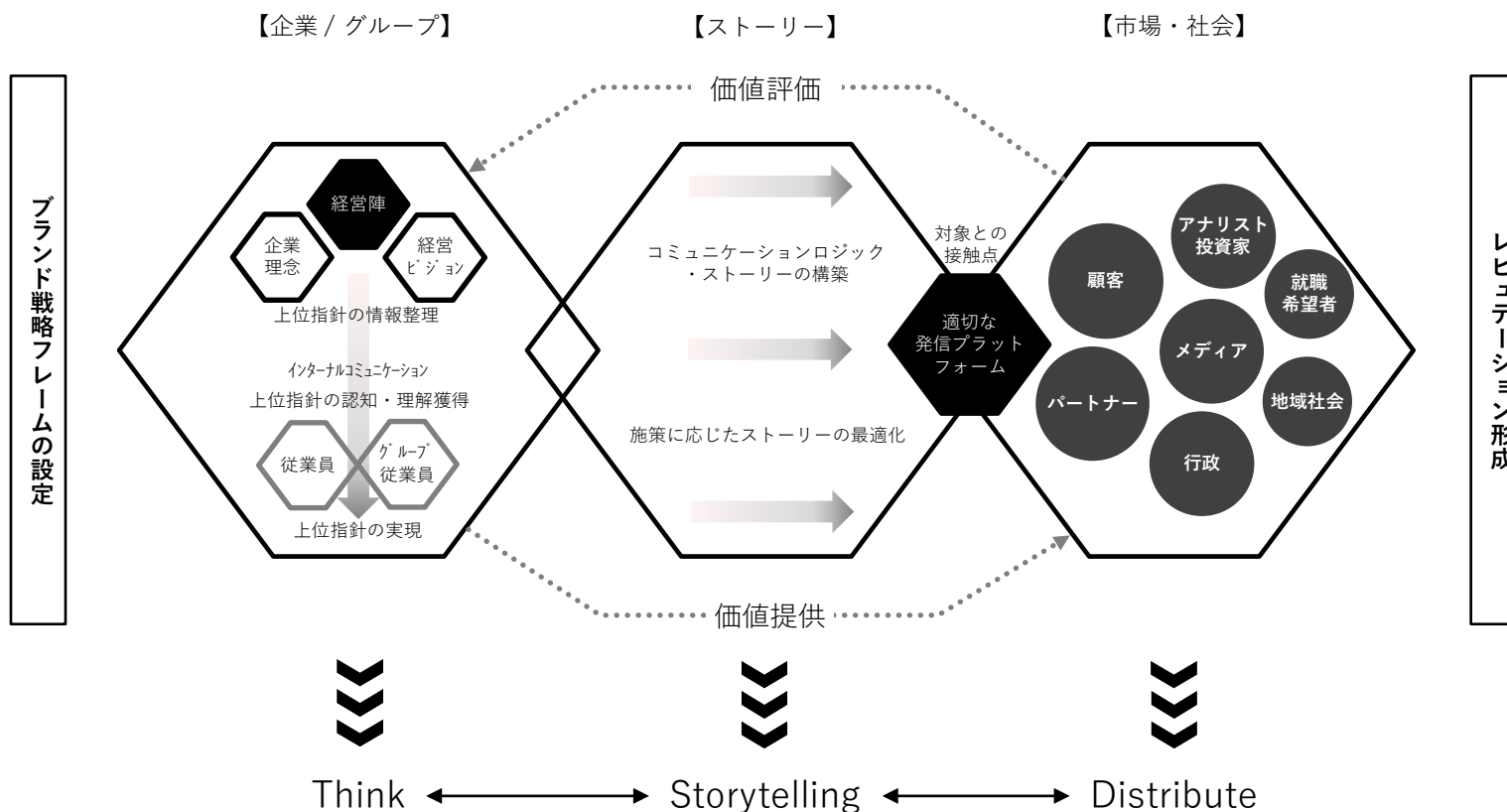
思考も、手法も、常識が大きく変わる時代。
シンクロする「コミュニケーション」を、どう創る？
そんな企業の、試行錯誤や悩みに常に寄り添い、支えたい。

野村IRは、そう考えています。



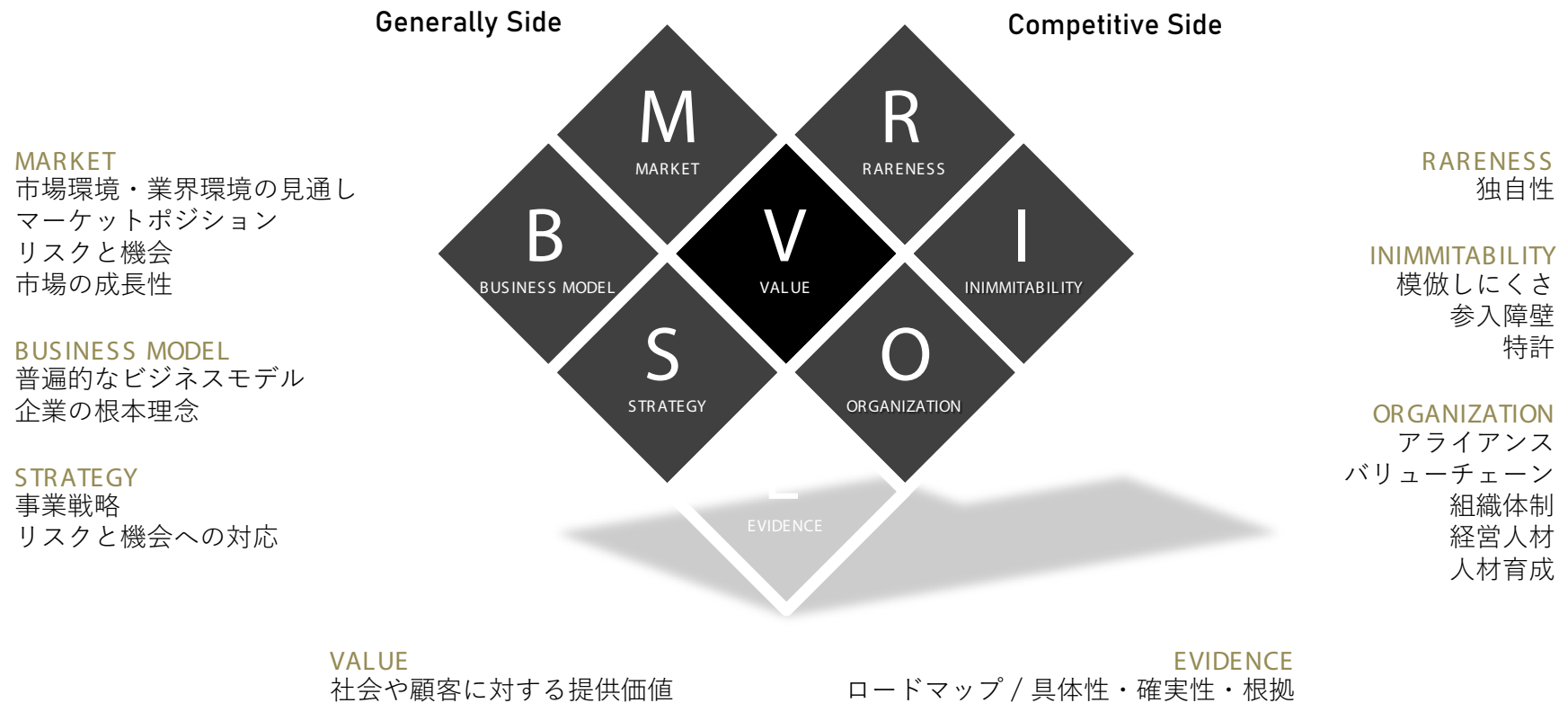
ストーリー構築を中心に、戦略的な企業広報をご支援

野村インベスター・リレーションズは、IR（株主・投資家向け広報）を中心に、企業の本質を捉える「Think」、説得力を持って届くロジックとストーリーを組み立てる「Storytelling」、本質を薄めることなく効果的に伝える「Distribute」まで、企業の広報活動を幅広くご支援します。



ストーリー構築に用いるフレーム事例

ブランディングや広報活動の使命は、他社との差別化をすることでもあります。様々な視点から、独自性や競争優位性等を明らかにし、自社の価値・存在意義を明確にしていきます。



ストーリー構築コンサルティングのフロー（一例）

ストーリー策定の際に一般的に行うことの多い作業を記載したものです。実際には企業様のニーズやご意向により、期間・実施スタイル・実施メニューなど、最適な組み合わせをご提案します。



※費用については、プロジェクト内容に適した実施メニュー、リソース、実施期間等を踏まえ、御見積をさせていただきます。



*Drive
Sustainability.*

NOMURA

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。